

「はなやか関西～文化首都年～」の取組

資料1

「はなやか関西～文化首都年～」は、近畿圏広域地方計画(注1)の主要プロジェクト「文化首都圏プロジェクト」(注2)を推進する取組です。関西は日本の文化の源泉であり、今も「本物」の文化を継承・発展させている地域です。

「はなやか関西～文化首都年～」では、こうした関西が誇る「本物」を活かした取組を年度ごとに「テーマ」で束ね、「関西ブランド」として国内外へ発信していきます。

「関西ブランド」の創造により関西の価値や魅力を高め、関西一丸で、関西のブランド力を向上させていくことで、日本を先導する「文化首都圏・関西」の形成を目指します。

注1:近畿圏広域地方計画は、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指して、近畿圏(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)を対象に作成された概ね10ヶ年の計画です。(国土形成計画法第9条の規定に基づき、平成21年8月4日に決定。)

注2:「文化首都圏プロジェクト」は、近畿圏広域地方計画の主要プロジェクトの第1に位置づけられており、多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し牽引する役割を担う圏域「文化首都圏」の形成を図るというものです。

平成23年度のテーマは「茶の文化」



茶は、日常の飲物として私たち日本人に広く愛されているとともに、「茶道」をはじめ関西をルーツとする「茶の湯文化」が起点となり、わが国独特のもてなしの文化が確立されてきました。

茶道具、茶室、庭園、菓子など関西生まれの茶の文化は、海外においても高い評価を得ており、関西は日本を代表する「茶の文化」の中心といえます。



写真:はなやか関西茶会記一秀吉と利休の大阪城を舞台として
(主催:はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」実行委員会)

- ◆日本を代表する資源である「本物」を大事にし、まちづくり、ものづくり、ひとづくりに活かし、
新たな「本物」を生み出す風土を醸成
- ◆関西の特色ある資源を活かした広域的な取組を展開し、「本物」の魅力や美しさを国内外に発信し、
「本物」を求め訪れる人を増加

文化首都圏・関西の形成

文化首都圏:
多様で厚みのある文化の集積を活かして、わが国を代表し、牽引する圏域のこと。

期待する効果

内部の求心力を高める

- ① 関西企業・市民等の誇りの創出
⇒ 関西の良いものを育てる
- ② 関西の一体感醸成

外部への訴求力を高める

- ① 関西の商品・サービスの購入の促進
- ② 関西への投資促進
(企業進出・資本投資等)
- ③ 関西への観光客の増加

相関

関西の価値を国内外に認識させる

はなやか関西～文化首都年2011～「茶の文化」展開イメージ

実行委員会

アドバイザー

- 寺本益英氏
(関西学院大学 経済学部 教授)
- 岩崎正彌氏
(皇學館大学 現代日本社会学部 准教授、茶の湯文化学会理事)

委員長

堀井良殷氏
((財)大阪21世紀協会理事長)

関西各地の
選定取組
(有志)

準備会
構成機関

有志が実行委員会へ参加 参加

各地域の取組団体(49件)

関西各地の
選定取組
(個別開催)

関西各地の
選定取組
(個別開催)

関西各地の
選定取組
(個別開催)

実施

サポート

関西のブランド力向上推進有識者委員会
(有識者)

関西のブランド力向上推進のための準備会
(自治体、経済団体、国の出先機関等)

シンボル事業

《イベント等》

- 茶にまつわる総合的なイベント
- 非公開茶室の見学
- 「茶の文化」タイアッププログラム
- 関西「茶の文化」スタンプラリー 等

《PRツール》

- 公式ガイドブックの制作
- 選定取組紹介パネルの制作
- ホームページの制作
- ポスター、シールの制作
- 『関西はなやか美術館—関西で「本物」の茶道具を所蔵する美術館—』パンフレットの制作

等

参加・協力

連携

各地域における取組



文化首都圏としてのブランド形成
関西の取組のネットワーク化・活性化